

2007年

JAF/筑波ツーリングカー選手権  
シリーズ第2戦参戦報告書



レーシンドライバー  
岩倉 弘明

Hiro Iwakura

本年度は皆様のご支援のお陰で  
『JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ』に参戦させて頂き、  
誠に有難う御座います。

先日、筑波サーキットで開催されました  
『JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ第2戦』に出場致しました  
ので下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ

第2戦

開催日時:

2007年6月10日(日)

開催地:

筑波サーキット(茨城県)



エントリー名:

IDIテクニカDLスターレット  
Car No.21 Class P1400

ドライバー:

岩倉 弘明

チーム名:

チームARM

メンテナンス:

レーシングサービス ロゴス(東京都あきる野市)

<http://www.rogos.com/>

協賛企業様(順不同):

アイ・ディ・アイInc.様

<http://www.idijp.com/>

住友ゴム工業株式会社様

<http://tyre.dunlop.co.jp/index2.html>

エンパイヤ自動車株式会社様

<http://www.sabelt-japan.com/>

株式会社ティーケールーム様

<http://www.tkroom.com/>

株式会社インターチャネル・ホロン様

<http://www.interchannel.co.jp/>



## 予選(ドライ):

### 18台中6位 BestTime1分9秒373

位置取りに失敗し、コーナーで前車に詰まってしまうタイムを伸ばせずトップとコンマ7秒差の6番手となりました。

ニュータイヤの使い方、位置取りの悪さに課題を残す結果となりました。

## 決勝(ウェット):

### 18台中18位 BestTime 1分12秒017(ファステストラップ)

予選終了後1時間程してから雨が降り出し、時折非常に強く降るなどし中止となったレースも御座いました。

前戦でファステストラップを獲得した得意のウェットなので、何としてでも結果残したいと思いレースに挑みました。

スタートで1台を抜きましたが、1台に抜かれ(このマシンはフライングでした)6位キープ、1周目はアクシデントが起きやすいので様子を伺い、2周目の1コーナーで前者をパスし5番手に浮上致しました

トップの車両が約1秒の差で逃げ、2位以下が団子状態になっており早い段階で、集団を抜け出しトップに追い付きたいと思い、ダンロップコーナーの立ち上がりから第2ヘアピンのイン側に向けて前車とマシンを並べた所、前車が幅寄せをしてきてコース外に押し出され、こちらの左フロント部分と相手のドア部分が接触し、双方スピン状態になりました。

2回転程スピンしながらもなんとか姿勢をコントロールし、最小限の遅れでコースに復帰致しました。

前戦と同様に8位付近からの追い上げとなりファステストラップを出しながら、追い上げ2位まで浮上し一時は10秒近く有ったトップとの差も残り2週の時点で約2秒差に縮まりました。

何とか追い付きオーバーテイクをしたいが、路面が段々乾いてきた事もあり、タイヤの温度が上がってしまい、極力濡れている所を選んで走っておりました。

そして、ファイナルラップに向かう最終コーナーでタイヤの限界を越えてしまい、コースアウトしてしまいました。

2位のまま、ゴールをしていたらシリーズトップだったにも関わらず、何とかトップに追い付きたい！優勝したいという思いを強く持ち過ぎ、このような結果となってしまいました。

スポンサー様、素晴らしいマシンを仕上げてくれたチームの皆様、足元の悪い中応援にいらして頂いた皆様に申し訳無い気持ちで一杯で、結果を残せなかった悔しさから涙を我慢する事が出来ませんでした。

コースアウトをしましたが、結果は2周遅れの18位とファステストラップという結果でした。

残り2戦を連勝し、必ずチャンピオンを獲りたいと思います！

今後とも、応援の程宜しくお願い致します！！

**Hiro Iwakura**